

SM公開講座 「壁の向こう側」

本講座は主従がさらによりよき主従関係をめざしたい方のために開講いたします。

本講座の前に必ず各SM公開講座を受講されるようお願いいたします。

なお、SMプレイを中心とした直接的な行為について言及することはありませんのであらかじめご了解くださるようお願いいたします。

§ 1 鏡

§ 2 殻

§ 3 窓

§ 4 波

§ 5 扉

KARMA

<http://www2r.biglobe.ne.jp/~karma/prison/>

karma@mvc.biglobe.ne.jp

SM公開講座 「壁の向こう側」

§ 1 鏡

あなたは自分の姿を鏡で見たことはありますか。

好きとか嫌いとかは別にして、鏡を見たことがない・・・という人はいないと思うんですけど、たぶん。

鏡に映っている自分の姿を見て「こいつは何者？」なんて思う方もいるかもしれませんが、どっからどう見ても自分自身にしか見えませんよね。

もちろん鏡の中にいるのはあなた自身であることは間違いはないのですが、それって本当のあなたですか？

好きな自分、嫌いな自分、いろんな自分を鏡は映してくれますが、その中にいるのは本当の自分でしょうか。

■ 奴隷の鏡

本当のあなたってなんなのでしょうか。

いろんな自分がいるからどれが本当のといわれてもねぇ・・・ もちろんそれは当然かもしれません。

でも、いろんな自分を全部含めてみんなご主人様のものであるはずですよ。

部分的にここからここまでがご主人様のものというのではないんですから。

よく、「ご主人様の前では本当の自分でいなければならない」といいますが、そうすると自分自身はご主人様の前にいるわけで、でも自分のご主人様のものであるわけで・・・
ああ ややこしい（笑）

あなたはご主人様にすべてを捧げたはず。

けしてMの部分のあなただけを捧げたわけではないはずですよ。

自分の好きなところ嫌いなところ、いろんな自分、みんなみんなご主人様のもの。

本当のあなたはみんなご主人様の中にあるのです。

奴隷として服従を誓ったあなたの姿を映し出せる鏡はただひとつ。

たったひとつだけの鏡の前で自分を偽ることはできないのです。

■ ご主人様の鏡

本当のあなたってなんなのでしょうか。

もちろんいろんな自分がいるわけですが、奴隷を飼うご主人様としてのあなたもあなた自身であることに間違いはないはずです。

奴隷は俺のすべてだあ～ はあと (^ ^) それはそれでいいんですけどね ^^;

あなたにすべてを捧げた奴隷はあなたが思った通りに育てられるわけですから、あなたの一部としてあなたの中にいるといえませんか。

そうであるならば、奴隷をあなたの一部としてあなたの意に反することのないように育てなければなりません。

あなたの思う通りに育てられるということは、あなた自身を映していくということになるわけです。

あなたの考え、あなたの思い、あなたの好み、あなたそのものを映しこんでいくのですから。

あなたが支配する奴隷はあなた自身を映し出す鏡なのです。

本当のあなたを鏡に映し出せるようにする、それはあなたにしかできないことなのです。

本当のあなたがなんなのか、それほど思い悩む必要はありません。

あなたを映す鏡には本当のあなたしか映らないのですから。

KARMA

<http://www2r.biglobe.ne.jp/~karma/prison/>

karma@mvc.biglobe.ne.jp

SM公開講座 「壁の向こう側」

§ 2 殻

自分ではどうにもならない事ってありますね。

それが何であれ答の出るはずのないことであればあるほどグルグルと螺旋を描いて急降下。

人の気持ちが濁流のように入り込んできたり、受け入れることができなかったり。

そんな時は心の殻の中に逃げ込んでしまうのが一番ですか？

それとも心の殻の中に押し込められてしまうのかもしれませんが。

分厚い殻の中に閉じこもることで平静を装うことができることもあるでしょう。

でも苦しみや辛さは殻の中にも渦巻いているのが現実です。

なんとかしよう早く出ようと焦れば焦るほど殻は厚みが増していく。

意識的に自分で出入りできる人もあれるかもしれませんが、他人にムリヤリこじ開けられ

るのは苦痛より恐怖に近いかもしれません。

さて、困ったことがひとつ。

けして居心地がいいから閉じこもっていたわけではないにしても、この閉じ籠もり癖がな

かなか抜けなくなってしまうということです。

あれやこれやと壁に突き当たるたびに閉じ籠もりたくなってしまう。

素直に自分を出せない。

何をどうしていいかわからない。

ときどき襲ってくる不安定さは自分ではどうすることもできません。

誰かに救ってもらいたいと願っても急激な変化はかえって破綻をもたらすだけなのです。

もし誰かが変えることができるとしたら、自分を包み込む大きな存在が心の中の殻と自然

に置き変わっていくというのが最良の方法だと思うのです。

大きな存在にふわりと包み込んでもらう。

それが心の殻の開き方。

自分ではどうにもならない事ってありますよね。

とにかく何かしてみたい。

いろいろなことに挑戦したい。

今までの自分とは違う何かをしてみたい。

殻の中から飛び出していきたい。

自分では明るく元気にチャレンジ♪と思っているのですが周りから見ると、おいおい

大丈夫なのかな ^^; と、どうにも危なっかしく見えたりします。

自分ではこのくらいでやめておけばいいとわかってはいても、ついついやりすぎてしまったり。

自分はゆっくり階段を登っているつもりなのに、全力ダッシュ！になっているのかもしれない。

いけない、というわけではないのですが限度という歯止めがどこかにいつてしまっているのかもしれないですね。

自分では気付かない心の殻の中に閉じこってしまいたくないという気持ちが強すぎるのかもしれない。

さて、困ったことがひとつ。

けして居心地が悪いから飛び出そうとしていたわけではないにしても、この飛び出し癖がなかなか抜けなくなっているということです。

あれやこれやと壁に突き当たるたびに飛び出たくなってしまう。

何のために飛び出そうとしているのかわからなくなってしまうこともあります。

誰かに歯止めを掛けてもらえたらとは思っても、かえって反発を感じちゃったりして。

もし誰かが変えることができるとしたら、殻の外までまるごと自分を包み込む大きな存在

に心の中も外も見守っててもらおうというのが最良の方法だと思うのです。

大きな存在にふわりと包み込んでもらう。

それが心の殻の開き方。

ほんとうの支配を知ること、その暖かさに触れることによって自分の居るべき場所が

わかるはず。

殻は破るものでもこじ開けるものでもありません。

ゆっくりと包み込んでいくように被っていくものなのです。

ゆっくりと染み込んでいくように満たしていくものなのです。

KARMA

<http://www2r.biglobe.ne.jp/~karma/prison/>

karma@mvc.biglobe.ne.jp

SM公開講座 「壁の向こう側」

§ 3 窓

窓から眺める景色っていつも同じですか？

たとえ窓の外が壁だったとしてもお天気くらいはわかりますよね。

晴れた日ならなんとなく うきうき♪

雨の日だとなんだか どんより ；；

自分はなんにも変わりが無いのに窓の外の景色で気分が変わっちゃうことも時にはあり

ますよね

というように、変わることもあるのですから、変えることだってできるわけです。

どかぁ～ん と落ち込んでいる奴隷の気持ちを引き上げてあげるためにはきちんと原因を

把握してしっかりと対処してあげなければならないことはもちろんなのですが、してあげ

ることはそれだけではないのです。

ご主人様たるもの窓の外の天気を変えられるくらいじゃなきゃいけません。

「俺はドラえもんじゃない！」 あぁ 失礼しました ^^；

でも、そんな風に奴隷の気分を変えてあげることができればいいですよ。

いくらご主人様といえども泣き崩れている奴隷に「笑いなさい」と命令してもそれは無理なことでしょう。

「泣かせるのは得意なんだけどなぁ・・・」

う～ん それは良くわかります（笑）

ただ、奴隷が落ち込んでしまうのはそのすべてに本質的な原因がある時ばかりではありません。

時には理由がなんにもないのに何かに引き込まれてしまうようなことだってあるのです。

理論や理屈で納得させることが必要な時もありますが、ご主人様としての大きな心で接してあげることで土砂降りの雨をいいお天気に変えることだってできるのです。

ここで覚えておいていただきたいことは、力業で心を振り回さないということです。

気持ちが落ち込んでいるのは窓の外が雨だからとは限りません。

でも、窓の外をお天気にしてあげることで落ち着いて考えられる余裕が出せるようにして

あげることだってできるのです。

無理は禁物、そのくらいのことはわかっておられるでしょうけど・・・

ご主人様のお天気がクルクル変わってしまうようではいけませんよ ^^；

ただし、一言ご忠告しておきますが・・・

カーテンを閉めてると窓の外は見えませんから開けとくように黙っておいてくださいね。

窓を開けてちょっと空気の入れ換えをしてみませんか。

知らず知らずのうちに部屋の中の空気がよどんでいることに気がつかないこともあるのです。

自分では気がつかないうちに何かが変わっていつていることだってあるのです。

自分が？ お相手が？ それとも周りが？

いえ、部屋の中の空気がです。

いつも見慣れた部屋、そしていつも見慣れた窓の外の景色。

何も変わっていないように見えますが、見慣れているからこそ気がつかなくなってしまうことだってあるのです。

ほんのちょっとした変化、ほんのちょっとだけがほんのちょっとでなくなる前に窓を開けて空気を入れ換えないといけません。

「いつも換気扇つけっぱなしだから大丈夫～！」 おっと、それは失礼しました ^^；

すれ違い、聞き違い、勘違い、そんなことなら誰にでも気がつくでしょう。

でも、慣れてしまってそれが当たり前になってしまうと感じなければならない事を感じられなくなってしまうのも事実なのです。

奴隷でいるのではなく奴隷でいられるということ。

それは奴隷でいられるかどうかへの不安ではなく、奴隷であることが当たり前のことになってしまわないようにということです。

窓の外がたとえ台風であっても大雪が降っていてもご主人様というお部屋の中に守られているからこそ安心していただけるんだということを忘れてしまってはいけません。

忘れてしまわないうちに窓をちょっとだけ開けて心の換気をしてください (^^)

ただし、一言ご忠告しておきますが・・・

窓を開けたまま寝ると風邪をひきますからちゃんと閉めなきゃいけませんよ。

KARMA

<http://www2r.biglobe.ne.jp/~karma/prison/>

karma@mvc.biglobe.ne.jp

落ちる、壊れる、爆発する。

何がどう違うのかはわかる人にはわかると思うのですが、表現の違いではなくそれぞれに微妙な違いがあるものの、それらはM女性の持つ特質のひとつであるということです。

ゆっくりとだったり、突然にだったり。

理由があったりなかったり、キッカケがあったりなかったり。

自己嫌悪、自己否定、自虐本能、自己防衛。

そんな繰り返しは嫌だと思っても自分でなんとかできるくらいなら苦しむわけなどありませんよね。

とはいうものの奴隷になれたからといって、落ちなくなったり壊れなくなったり爆発しなくなったりするというものではありません。

ご主人様がいらっしゃるというだけでは、どうにかなるものではないということなのです。 いえ、ご主人様の奴隷にさせていただいたからこそ起こることだって少なくはないのです。

ご主人様の方から見ると、奴隷をしっかりと支配していくためにはこれらをどうして

いくのかがご主人様の役目であり、これらにどう対処できるのかが飼い主である

ご主人様としての資質の問われるところなのです。

落ちるのが悪いことでもなければいけないことでもなく、ご主人様が見守っているからこそ落ちてもいいのだと教えることができるというのはそうそう簡単なことではないのですから。

「落ちるなら勝手に落ちてなさい」 とか 「うるさいから自分で何とかしなさい」 という方はこの先をお読みになる必要はありません。

また、「そのくらいのことは百も承知だし、ちゃんと対処してあげる自信もあります」という方もこの先をお読みになる必要はありません。

浜辺に打ちよせる波はいつも同じではありません。

やさしい波もあれば荒れ狂うように押しよせる波もあります。

でも、まったく波のない日はありませんよね。

波があるのは生きている証拠なのです。

だから波のあるのはごく自然なこと。

波が穏やかでなくなることは悪いことでもいけないことでもありません。

たとえ大きな波が押し寄せたとしても、かならずご主人様が穏やかな波に戻してくれるのです。

いつものすてきな笑顔でいられるように (^ ^)

ただし、そうしてあげるためにはご主人様に波を打ち消すだけの力がなければなりません。

間違わないでいただきたいのは、ちょっと波があるからといってなんでもかんでも静めてしまうのではないということです。

波の大きさや波の質をしっかりと見極めなければなりません。

その波がどのくらいの大きさになったら穏やかな波に戻してあげるかを判断する必要もあります。

すぐに戻してもいいこともあれば、少しだけそのままにしておくことが必要なことだってあります。

時には大波を全身で受け止める防波堤にならなければならないこともあるでしょう。

どんなに大きな波がきても穏やかな波に戻してあげることができるということが、ご主人様への信頼をより大きくするために必要なことなのです。

そして、「波はあってもいいのだ」ということを、奴隷に教えてあげることができるご主人様になっていただきたいのです。

波があるのは生きている証拠です。

大きくても小さくても波はあっていいのです。

たとえ大きな波が押しよせたとしてもご主人様がいるから大丈夫。

そんなご主人様をめざしていただきたいと思います。

ご主人様なのでから大きな波に呑み込まれて溺れたりしないようにちゃんと泳げるように訓練しておかなければなりません。

え 任せておけって？

あの・・・ それ、奴隷さん用の浮き輪なんですけど ^ ^;

KARMA

<http://www2r.biglobe.ne.jp/~karma/prison/>

karma@mvc.biglobe.ne.jp

SM公開講座 「壁の向こう側」

§ 5 扉

あなたは後ろを振り返ったことがありますか？

転んだり、穴に落っこちたり、なつかしいあれこれが見えませんか？

もちろん主従関係でのことですが ^^；

今となっては・・・ですが、あの時はど～なることかと思ったなんてこともありますよね。

その時には、よくわからなかったことや、できなかったこと。

いま振り返ってみると、いつのまにかわかるようになっていたり、いつのまにかできるようになっていたり。

そんなことがいっぱいあるといいですよね (^ ^)

ところで、この 「いつのまにか・・・」 というのがとても大切なことだったりするんです。

いい奴隷になりたい。

そりゃ誰だってそうでしょうけど ^^；

「いい奴隷」ってどんな奴隷かというのは人それぞれというよりも、ご主人様が違えば当然違うということで、ここではちょっと置いといて・・・

ご主人様に気に入ってもらいたい、ご主人様に喜んでもらえるような

奴隷になりたい。

その気持ちはとってもよくわかります。

でも、どんなふうにしたらいいのか、どんなふうになったらいいのかがわからずに焦っている人、手を挙げてください。

はぁ～い いっぱいいますね～（縛）

ここでひとつ気をつけなければならないことがあるんです。

こうしたい、こうなりたいという気持ちが 「しなければいけない、ならなければいけない」 になってしまっただけなのではないのです。

気持ちの上では 「しなければいけない」 ではなく 「そうなれたらいいなあ」 くらいがいいということなのです。

ご主人様の仰ることがいまはわからなくても、「いつのまにか」 わかるようになり、そして、「いつのまにか」 自然にそれが身に付くようになっていけることを信じて。

あなたは後ろを振り返ったことがありますか？

きっと、一年中春の日射しがポカポカと (*^^*)

え？ 台風に洪水、火山の爆発でエマージェンシーとレスキューの連続だったですか ^^；

あの時は、こうしなさい、こうなりなさいと教えたけど、それをすべて理解させたり納得させたりすることってなかなかできませんよね。

まあ いつかはわかる時がくる、いつかはできる時がくる、それがわかっているからこそ待つことができるんですけど。

たいへんでしょうけど、それでこそご主人様ですもんね。

ところで、この 「いつかは・・・」 というのがとても大切なことだったりするんです。

いい奴隷に育てたい。

そりゃ誰だってそうでしょうけど ^^ ;

(ただし支配と服従を目指すご主人様限定ですが(縛))

いい奴隷というのは、もちろんご主人様によって考え方も育て方も違って当たり前なのですが、自分にとってだけではなく、奴隷自身がいい女いい人間になるための根元であるということなのです。

そののところわかってますよね。

わかってる人、手を挙げてください。

はぁ～い いっぱいいますね～(縛)

ここでひとつ気をつけなければならないことがあるんです。

その時その時で適切に導いていくのは当然のこと。

でも、これからのこと、もっと先のこと、いまは無理でも、いつかはわかるようになり、そしていつかは自然に受け入れられるようになるための教えもあるのです。

そのために必要なこと。

がんばらせてはいけないこと。

余裕を無くさせてはいけないこと。

こうしなさい、こうならなければいけませんではなく、「いつかは」 そうなれるんだと信じさせてあげること、それを忘れずに想い続けていかせること。

でも、突然にポンッてできるわけではありません。

いつもの躰、教え、調教、いえいえご主人様の全部で接していく積み重ねがあってこそこのことなのです。

高い目標に向かって必死にがんばっていくのがいけないとはいいいません。

でも、それじゃいままでと同じじゃありませんか？

挫折感を味わったり、達成しても充実感が湧いてこなかったり・・・

ご主人様の前で、必死に頑張る必要はないんです。

ご主人様がおっしゃるように 「いつかは」 そうなれると信じていれば、「いつのまにか」 そうなれるということなのです。

そんなふうになれるのだろうかと思っても、ご主人様がそうなるんだというのですから、いつかはそうなるんです（笑）

いつかご主人様に「ほら、後ろを振り返ってみなさい」といわれた時に、「あれ、いつのまにか・・・」 ということなのです。

たまには、後ろを振り返ってみるのもいいもんだと思いませんか？

自分のすべてを捧げたいと思ったご主人様にお仕えすることができたのですから、前がど
っちかを見失ってはいけません。

自分のすべてで支配したいと思った奴隷を飼うことができたのですから、前がどっちかを
しっかりと導いてあげなければいけません。

たとえ身体が朽ち果てても続く主従関係を、あなたにもきっと築き上げることができるは
ずです。

主従の扉を開いたのはあなた自身なのです。

その扉の先には近道も抜け道也没有せん。

焦らずにゆっくりと進んでいくことにしましょうか (^^)

閉じちゃったらどうでしょう (涙) って？

大丈夫です！ 自動ドアになってますから (^^)

KARMA

<http://www2r.biglobe.ne.jp/~karma/prison/>

karma@mvc.biglobe.ne.jp